

平成26年度「比良山系山岳パトロール実施報告書」

作成日：2015年3月11日

パトロール実施日	平成27年 3月 8日 (日) 天候 晴れ時々くもり <気温高い>
山岳会名 (団体名)	東レ滋賀山岳部
参加人員 代表者名・人数	三浦光次 (5名)
実施コース (コースタイム) ・コース名に○印 ・具体的なコース (積雪状況等を含む)	(実施ルートを詳細に記載して下さい。) ・A ・B ・ C ・D ・E ○その他 イン谷口 8:50<雪なし>→大山口 9:00→<雪が現れる>→10:35 金糞峠→10:45 奥深谷分岐 11:00<積雪 100cm>→<ヨキトウゲ谷よりコヤマノ岳南稜冬道へ>→12:00<昼食>12:30 →12:55 コヤマノ岳<積雪 100cm 程度>→<旧スキー場パノラマゲレンデ>→14:00 八雲ヶ 原 14:30→15:10 北比良峠<積雪 0~50cm>→<ダケ道>→16:35 大山口→16:50 イン谷口 大山口の上流から上は雪で覆われていた。前日の雨でザラメ雪となっていた。 正面谷、コヤマノ岳冬道、ダケ道にはトレースがあり、壺足でも歩行に支障はなかった。
(※) 登山届投函箱の状況	(修繕等が必要なもの、筆記用具・記入用紙の状況、錠前の状況など記載して下さい。) 人出が多かった割にはレスキュー比良小屋およびその 50m 上流の橋横の投函箱に未使用の 登山届書は十分に残っていた。正面谷トイレ前広場には 24 台も駐車しており、ここに投函 箱を移設するのも一案かと思われる。
(※) 道標の状況	(破損しているもの、比良ロープウェイ・リフト等の名称が表記されており、修繕等が必要なものを記載して下さい。) 1. コヤマノ岳山頂近くに武奈岳への大きな道標が新設され、道が分かり易くなった。 2. ダケ道のカモシカ台に新しく「北比良峠←→大山口」の道標が新設されていたが、「カモシ カ台」の表示板がなくなっていた。
(※) レスキューポ イントの状況	問題なし。 携帯電話の通信状態のチェック・メーカー・機種別を記載して下さい。
(※) コースの状況	(橋の破損、通行止めの表示やロープの老朽化等の箇所があれば記載して下さい。) ・金糞峠西側から軽微な土砂崩れが発生しており、落石の危険は続いている。(写真 42,44) ・金糞峠下の奥深谷支流に架けられた新しい小橋は、雪に潰れることなく健在であった。
(※) その他	(コースがわかりにくく新たに道標が必要と思われる箇所、その他危険なため、何らかの対策が必要と思われる箇所等があれば記 載して下さい。) ・コヤマノ岳南稜冬道は積雪期のメインルートと化している。レスキューポイントを設置して はどうか。
入山状況	・日曜日の好天で、風も弱く、ラッセルもアイゼンも不要、という好コンディションに恵まれたため、 多数の登山者が入山していた。 ・ただし武奈山頂は終日雲に包まれていた。多くの登山者が御殿山コースから登ったと思われるが、 確認できなかった。
単独登山者について	(・年齢・男女の区分・登山コース・その他 等を記載して下さい) ・正面谷からの複数登山者 4 組、男性単独登山者 5 名程度。女性単独登山者 1 名。 ・武奈岳方面からコヤマノ岳南稜への下山者は、2 組。単独登山者は 6 名程度。
登山者への指導等	(登山者の様子&状況、登山者への指導等をされた場合はその概要を記載して下さい。) 1. チラシを配っての指導はできなかった。 2. 先行者、後続者、すれ違いの登山者 3 パーティーに、彼らのルートをヒアリングした。 午後 2 時に旧パノラマゲレンデ中部を登る単独者に行き先を尋ねたところ、武奈岳までと のことだったので、時刻が遅いことを注意した。その後、その単独者は武奈岳に登った 後にダケ道で我々と再会した。
その他	
写真	37 正面谷トイレ前公園の駐車状況。42 正面谷金糞峠西の崩壊。44 金糞峠西の土砂。 48 コヤマノ岳山頂分岐新設道標、

